会社紹介

IPFS infinite JAPAN 株式会社

世界を変えるプロジェクトを、日本から。

About us

IPFS Infinite JAPAN株式会社とは

「 世界を変えるプロジェクトを日本から 」



個人が大規模なプラットフォームの依存から脱却し、個人が中心となり、個人に最適化された仕組みを構築する新時代のインターネットがWeb3.0の構想と呼ばれる中、IPFSは個々がストレージを跨いで利用することでコストクオリティが生まれるという全く新しい分散型ネットワークの仕組みです。当社はこの技術を日本に導入したパイオニアの一つであり、現在は日本における最も大きな組織として成長して参りました。「世界を変えるプロジェクトを日本から」を企業理念とし、これからもIPFS事業を始め、人類の生活を便利に、ライフスタイルを豊かに、文化を華やかにする最先端技術を日々研究・開発し、この日本において浸透・流通させていきます。

About us

IPFS Infinite JAPAN株式会社とは

会社名	IPFS infinite JAPAN株式会社
所在地	東京都千代田区神田練塀町3 富士ソフト秋葉原ビル
TEL	03-4400-7288
資本金	1900万円
設立	令和3年5月14日
役員	藤井謙治(CEO)/孫僮検(CTO)/寺内一貴(COO)
主な事業内容	・データセンターの運用及び管理・最先端技術の研究、開発及び事業開発・情報通信機器及びシステムソフトウェアの販売、運用及び保守管理
提携会社	株式会社セレス 株式会社ウェイサス 他
ホームページ	https://ipfsinfinite.jp

Project

事業

IPFS関連技術研究開発





先端技術研究開発



マイニング事業



Philosophy

我々の理念

日本におけるIPFSの現状と、我々の想い

分散型ファイルシステムと呼ばれる「IPFS」は、既存のインターネットの課題を解決する次世代のインターネット・インフラとして注目を集めています。

アメリカで開発され、今では世界中のエンジニアの間で現在も研究が進められているIPFSはこの先、インターネット・ビジネスの考え方そのものを変えていく可能性があります。

日本の未来の産業の発展のために。

日本国内に、世界に誇る次世代のインターネットのインフラを構築したい。

我々はその想いを胸に、現在、都内のデータセンターに、Filecoinマイニング専用のチューニングを行った高スペックサーバマシンを設置した自社データセンター「IPFS infinite JAPAN(インフィニット・ジャパン)」を運用しています。

世界でトップクラスのIPFS施設を目指して

IPFSのデータセンターを構築するために重要なのは、データ保存のペナルティを起こさない「優秀な機械」、途切れない「安定高速なネットワーク」、安定した「電力供給設備」、エラーやトラブルがあった際に即座に対応できる「万全な保守サービス」です。

これらの要素は、他国よりも我らの暮らす日本の方がインフラ環境が有利です。

さらに日本の地域の中でも、最も電力とネットに関するインフラの安定性の高い東京・千代田区にこだわって施設を建設。 世界中にあるIPFSのデータセンターの中でも、最も安全性・安定性にこだわったハイレベルな施設として運営していること が、当社の特徴の一つです。

Partner

パートナーシップ



株式会社セレス (https://ceres-inc.jp/)

連結子会社マーキュリーにて仮想通貨交換業CoinTradeを運営。

仮想通貨交換業であるbitbankの22.4%の株主。

2021年11月30日弊社とWeb3.0およびIPFS分野において資本業務提携を締結。



ファーウェイ・ジャパン、ファーウェイ(華為技術)本社 (https://www.huawei.com/jp/)

サーバシェア世界3位、日本市場5位。

弊社はすべてのハードウェアにおいてファーウェイ社製を選定しており、ファーウェイから保守サービス、技術サポートを含めた全面的な支援を受ける。



麦田云际(杭州)科技有限公司

麦田云**际**(杭州)科技有限公司(https://www.mtfs.top)

中国トップレベルのIPFSおよびブロックチェーン開発企業。

IPFS分野にてHUAWEIと技術および運用面で提携しており、弊社とも同様に技術および運用メンテナンス領域にてパートナーシップ契約を締結。

サービス紹介

NFT プラットフォーム

新世代のデジタルコンテンツの膨大な市場と繋がるインフラ

-About NFT-

私たちが取り組むNFT技術

「NFTを、より安全に、より身近に。」



ブロックチェーンを活用したNFTの登場は、様々な業種業態で革命を起こしつつあります。デジタルアート(オンライン上のイラスト・画像など)やテレビゲーム内のアイテム、マンガ、トレーディングカード、音楽など、幅広いジャンルにおいて「自分がこの作品の唯一の所有者である」という所有権の証明が可能になり、「デジタル資産」という市場が生まれ、今急速に拡大しています。

大小様々な企業が参入し始めているこのNFTはまだまだ創世記、数多くのビジネスチャンスに溢れています。

私たちはWeb3.0関連技術の研究成果を活かし、このNFTを活用するためのウェブサービスをユーザー目線で構築してきました。

「NFTを、より安全に、より身近に。」 私たちの技術は、NFTの市場拡大に貢献します。

NFTビジネスの特性

ブロックチェーンが生み出したデジタルコンテンツの新たな市場

NFT = Non-Fungible Token

日本語にすると『非代替性トークン』。 非代替性とは『替えが効かない』という意味であり、 ブロックチェーンを用いて 『唯一無二であることの証明ができる技術』です。

NFT以前のデジタルコンテンツの問題点

インターネット上にある写真やイラスト、音楽や動画などデジタルな情報はこれまでその性質上、コピーや改ざんのリスクは 排除できず、「モノ」と違ってその価値や所有権を証明することが難しいという問題ありました。

NFTが実現できること

デジタルコンテンツに対して、本物か偽物か、所有者が誰であるかを証明することが出来ます。形が無く、無価値に近い存在だったデジタルコンテンツに価値を与え、アートを中心とした膨大な世界市場を突如生み出し、全く新しいデジタル作品の楽しみ方やビジネスが生み出されるきっかけとなり、世界中から関連事業に注目が集まり、新規参入が相次いでいます。

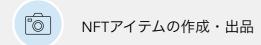
NFT技術の登場によりデジタルコンテンツの膨大な新市場が生まれ、 関連ビジネスに対し大きな注目を集めている。

弊社のソリューション概要

品質と納期で他社を圧倒するプラットフォームのご提供

すぐにビジネス開始可能な、NFTプラットフォームパッケージ

NFTプラットフォーム・ユーザ向け

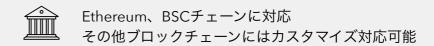






- 販売ロイヤリティー
- 他のプラットフォームのNFT販売
- MetaMaskとの連携

プラットフォーマー向け



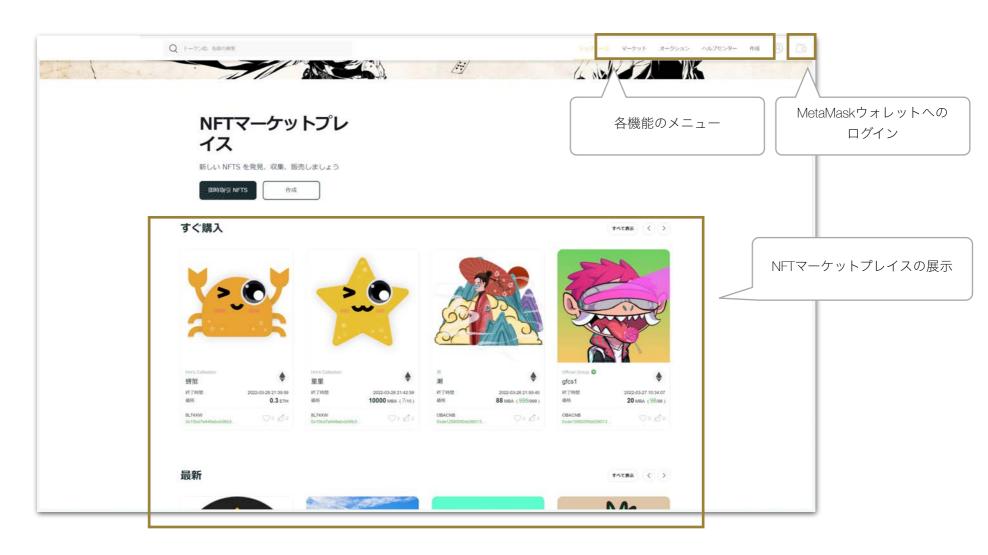




NFTのマーケットプレイスに必要な全ての機能を初めから搭載

デモサイトのご説明

必要な機能を全て盛り込み、インターフェースのカスタマイズも可能なプラットフォーム



ユーザービリティ高いインターフェース、日本語にも対応

— NFT×IPFS(分散型ストレージ)による最先端ソリューション —

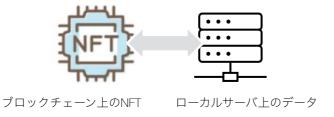
IPFSの応用で進化したNFTサービスを提供

高画質画像NFTとデータNFTのFilecoinブロックチェーンにおけるデータ格納できるようなツールをNFT業者に提供します。

イーサリアムブロックチェーンで作成したNFTとFilecoinブロックチェーンに格納するデータを紐づけし、 大量データのディセントラライズドを実現します。

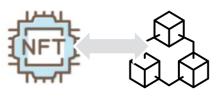
現在のNFT

データを中央(一定の事業者)が管理していため、半分散型の仮NFTである。



弊社提供のNFT

コンテンツデータそのものをブロックチェーンで管理しているため、完全ディセントラライズドの本格NFTになる。



ブロックチェーン上のNFTとデータ

今、世界の先端を走るNFT関連事業者の中で進んでいるIPFSを、 あなたのNFTでも。

セキュリティ特性

ユーザーとプラットフォーマーの資産を守る根幹技術

完全ディセンタライズなNFTプラットフォームであり、高いセキュリティ性能を実現

高度なアカウント管理

アカウント情報は高度に暗号化され、データ所有者の承認がなければアクセスできないため、データの安全性と個人のプライバシーを確保することができます。

マルチ認証

複数回の認証により、悪意のある攻撃 を防ぎ、プラットフォームのセキュリ ティを保護します。



オンチェーン取引

取引はスマートコントラクトにより実施されます。すべてオンチェーンの情報となり、追跡確認ができます。

高セキュリティの署名認証

スマートコントラクトは、署名認証 技術を導入することで、ユーザーの 資産の安全性を保護します。

高いセキュリティ機能により運用上のリスクの一つが低減 プラットフォーマーはマーケットプレイスの運営・マーケティングに集中可能

サービス紹介

IPFS応用+メタバースの構想案

世界を変えるメタバースに、Web3.0のインフラであるIPFSを組み合わせた最新テクノロジー

About Metaverse

メタバースとは

「技術の力が生み出した新しいエンターテインメント空間」」



コンピューターが画面の中に作り出した空間や部屋、街=仮想空間を、まるで実際に歩き回っているかのような体験ができる技術が「メタバース」。似たようなコンセプトのゲームは今までもありましたが、今はそのコンセプトにブロックチェーンが組み合わさったことで、その空間の中で実際の世界と変わらない商売や生活ができる、まさに「仮想世界」「もう一つの生活」と呼べるまで進化し、認知も広がり、その空間内に用意された土地が高値で売買されるほどにまで市場性が広がりつつあります。

私たちはこのメタバースが抱える課題を解決し、メタバースの世界を魅力的に進化させる独自技術を開発。 クライアント様と共に新しいエンターテインメントを世に送り出します。

3Dメタバースイベントの事例

メタバースで新しいエンターテインメントの市場が広がる

コロナ禍での外出自粛の時勢も後押しし、仮想空間=メタバースを活用したイベントはここ数年で一気に拡大。 携帯大手のauを初め、大手がVRバーチャル世界・3Dメタバースでのイベントを開催・成功した事例がたくさんあります。 ただ、現状は参加者の端末スペックを考慮して、シンプルな3D画像や、2D画面でのイベント開催となっています。





VRイベント「バーチャルマーケット2021」内で企業などがブース出店できる「パラリアル秋葉原」

(出所:HIKKY)

メタバースの活用は着実に進んでいるが、 技術的な部分においてまだ改善・進化の余地が大きくある

弊社のソリューション概要

開発からサーバー運用まで、ワンストップで最先端メタバースの構築を可能にするサービス

メタバースの可能性と利便性を広げる先端技術

リアルタイムクラウド3Dレンダリング技術

- ・クラウドサーバー内に構築した独自エンジンで3D画像をレンダリング
- ・ユーザーの端末のスペックに左右されず仮想空間を表示
- ・ユーザーを限定していたメタバースのターゲットを広げることができる技術

メタバース基礎技術構築

- ・当社が運営する日本最大規模のIPFS(分散型ストレージ)データセンターでの、高セキュリティ下でのデータ保管と管理
- ・NFT・Defi等の先端技術開発可能なエンジニアと、海外も 含めた技術協力企業のコネクションを活かした開発背景
- ・メタバース構築に必要なインフラ開発を全て賄えるワン ストップサービス

イベント・ゲーム・ビジネスなどアイデア次第で様々応用可能

X

リアルタイムクラウド 3Dレンダリング技術

インフィニット・クラウドレンダリング

メタバースの世界を、より身近に、よりリアルに。

現在のメタバースの課題

3Dグラフィックスで表現される擬似空間=メタバースは、その特性上、利用するハードウェアのグラフィックのスペックが要求されます。

メタバースを利用したいと思うエンドユーザーの端末のスペックは様々ですが、スペックが 弱い端末は3D映像の生成が不可能なためメタバース空間を最大限利用できず、利用者= マーケットを限定してしまうのが同市場の今後の成長に向けての大きな課題です。

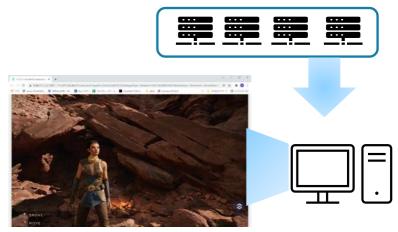


3Dレンダリングはユーザー端末(PC)上で行われる。 PCには3Dを表現できるスペックのグラフィックボードが必要。

課題を解決するインフィニット・クラウドレンダリング

独自技術となるリアルタイムクラウド3Dレンダリング技術「インフィニット・クラウドレンダリング」は、我々のクラウドサーバー内に構築した独自エンジンで3D画像をレンダリングし、円滑にユーザーの端末に表示させる技術。エンドユーザーは通信環境さえあればどんな端末でも、ブラウザを使用して快適に3Dの画像が生成できます。

ユーザーの端末スペックがネックになっていたことで今まで表現できなかったリアルな 3Dグラフィックも、この技術で表現が可能になるため、メタバースの空間を一気に進 化させる可能性をもたらす技術です。



クラウド側にて3Dレンダリングを行い、生成した画像がブラウザに表示される。PCのグラフィック性能を問わない。

世界が注目するメタバースの可能性を広げる独自テクノロジー

仮想空間を支えるインフラストラクチャ・パッケージ

メタバース基礎技術構築

あなたの世界を、仮想空間に構築する。

新規構築には高度な開発が必要

メタバースは3Dで作り込まれた仮想空間の中に、ブロックチェーン技術やNFTが応用されることで、 プラットフォームから別のプラットフォーム、またメタバースから現実世界へとシームレスにアバター や NFT、資産(仮想通貨等)を所有・取引をすることが可能になります。

更にここ数年 VR・AR 技術の進歩により、まるでもう一つの現実世界のような高度なレベルでのメタバースが構築されつつあります。

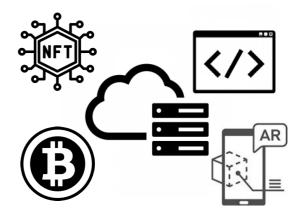
つまり、メタバースの新規構築には3Dのエンジニアリングだけでなく、データを保存する分散型サーバーの構築や維持管理、NFTやブロックチェーンと連携するプラットフォームの設計など、仮想世界の基礎となる幅広い技術を集約したインフラの開発が必要になります。



当社のメタバース基礎技術構築

当社は日本最大規模のブロックチェーンによるIPFS(分散型ストレージ)のデータセンターを保有し、それらサーバー構築・維持管理の技術と経験に加え、NFT・Defiをはじめ最先端の様々なIT開発を可能にするエンジニアと、海外も含めた技術協力企業のコネクションを活かし、メタバース構築に必要なインフラ開発を全て賄うことができます。

当社の製品である「インフィニット・クラウドレンダリング」と組み合わせ、メタバース世界の構築 を一気通貫で開発・維持管理・運用をご依頼いただくことも可能です。



メタバースの構築に必要な開発を、ワンストップで。

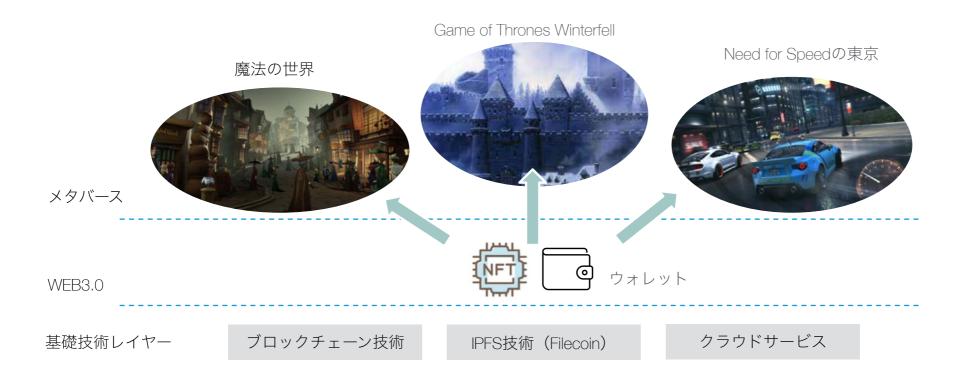
メタバースの展望

世界で注目を集めるメタバースの進化系技術

我々が提供するIPFS+メタバースは、ブロックチェーンを初めとした、今注目を集めるITテクノロジーの集合体のような存在です。

今注目を集めるメタバースも、IPFS(分散型ファイルシステム)をデータの格納先とし、そこを介することで、これまでの単一のプラットフォーマーではなく利用者が中心となり、NFTやブロックチェーンウォレットのツールを使用し、自由にゲームやアプリケーションを、自分の好きな環境で利用することが出来るようになります。

また、注目を集めるもう一つの技術=NFTはイーサリアム・ブロックチェーンに作られることが主流ですが、そのようなブロックチェーンを、他のデータベースと合わせてIPFSにデータを格納し、メタバース空間で利用できるのも特徴です。



—(導入例)リアル3DメタバースのNFTギャラリー—

アイデア次第で様々な用途が見込めるリアル3Dメタバースの活用案

本技術を使用した事業例として「NFTギャラリー」の構築があります。

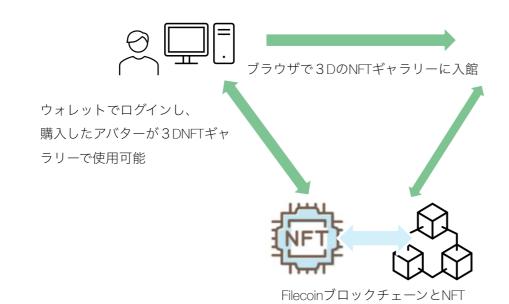
この「NFTギャラリー」は集客のためのイベントとして、また「NFTアート」販売の場所として、様々な活用方法が考えられます。

【ディセントラライズドの本格NFTを作成】

→画像データをFilecoinブロックチェーンに格納、NFTとデータそのものをブロックチェーンで保管するため、分散型の本格NFTを実現できます。

【リアル世界と同じようなメタバースNFTギャラリーを構築】

→3Dレンダリングクラウドサービスを使用したメタバース建設により、どんな端末でもリアル世界と同じような映像品質・環境のNFTギャラリーをオープン。新しい形の美術展などを開催できます。







<3Dレンダリングクラウドサービス>

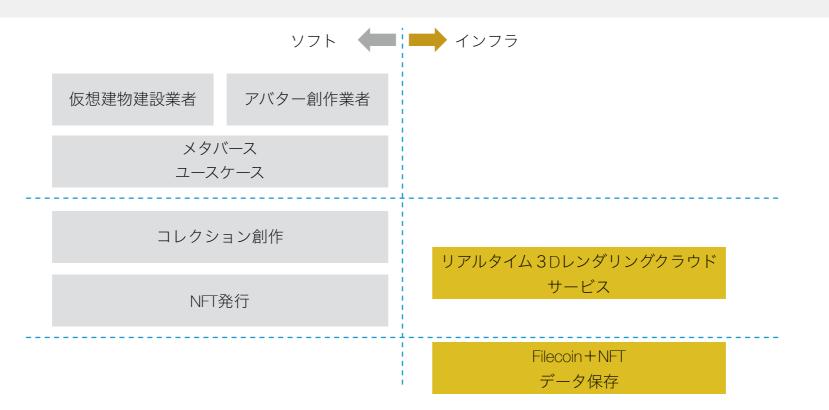
展示品のNFTをギャラリーにて展示し、オークションなどを開催でき、入札したお客様に即時渡しが可能となります。

メタバース業界における弊社の立ち位置

最先端のメタバース・インフラで、クライアント様の新しいビジネスをサポート

現時点で競合のないメタバースの独自技術

- ・NFT発行の基盤となるFilecoinデータ保存技術の提供ができます。
- 3Dメタバース用のクラウドサービスを提供できます。



私たちはメタバース構築に必要な最先端インフラ環境を開発し、提供します。

- プロジェクト構築におけるそれぞれの役割

当社独自技術を用いることで競争力のあるサービスの構築をサポート

コンテンツ制作やNFTコンテンツはプロジェクト様に担当いただきます。
NFTプラットフォームをベースに、データの保存やギャラリーの建築レンダリング、サーバの維持管理は当社が行います。



その他にも、機能追加等のご要望に対し 積極的に研究・開発を行っていく

サービス紹介

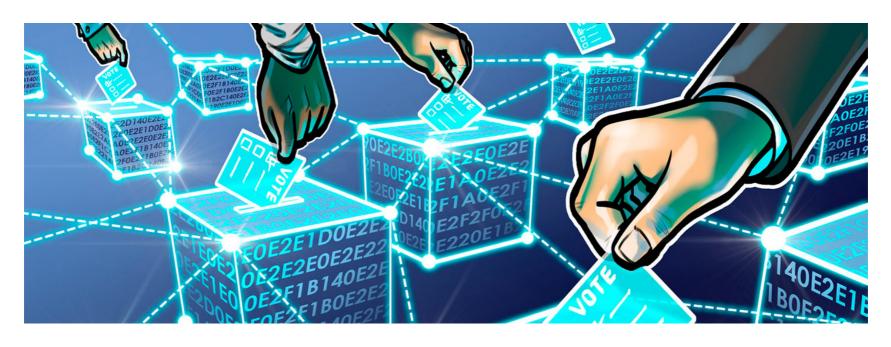
infinite DAO

Web3.0上に構築する新しいコミュニティ・エコシステム

-About DAO

NFT/Defi時代に必須のコミュニティ・エコシステム

「 Web3.0時代の新しい組織の形 」



DAOとは「分散型自立組織(Decentralized Autonomous Organization)」の略称であり、分散型ブロックチェーンの仕組みを使って構築されたコミュニティ・組織です。現在は会社組織だけでなくオンライン・SNSで構築されたグループには必ず特定の管理者がいますが、DAOではその組織のルールや方針に関する意思決定権も含め参加者全員が管理者として運営されます。Web3.0の分散型ネットワーク時代にマッチした新しい組織運営の技術であり、NFTやDefiなど分散型ネットワークに関するサービスが拡大していく中、当社はこのDAOが新時代のコミュニティのスタンダードとなることを確信し、独自のDAOを構築するサービスをいち早くご提供いたします。

インフィニット・DAOとは

カスタマイズにより独自のDAOを構築する

インフィニット・DAOとは?

大規模なコミュニティ・組織でもブロックチェーンに基づくエコシステムで構築できる、独自のWeb3.0のDAOインフラストラクチャです。 ユーザー、コミュニティ、プロトコルの相互接続されたエコシステムを採用し、多くのユーザーがWeb3.0のコミュニティにシームレスに参加することが可能になります。

インフィニット・DAOにより支援できること

NFT発行	独自NFTの発行が可能で、企業向けクロスプラットフォームコミュニティを盛り上げる
ブランド構築	ユーザー管理のコミュニティを持つことで企業ブランドの価値とユーザーの地位向上
DAO管理	ユーザー自身がコミュニティ管理を通じて刺激を与え、ブランドイメージを推進する

導入推奨者

企業	ブランド構築を行いたい企業
インターネット関連製品	Web2.0フォーラムなど、コミュニティ運営に焦点を当てたインターネット製品
文化的コミュニティ	文化、芸術、娯楽の分野でIPベースの製品に焦点を当てたコミュニティ
Web3.0製品コミュニティ	Web3.0製品を取り扱う組織・事業者

インフィニット・DAOの特徴

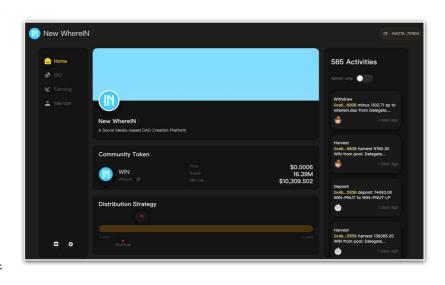
時代を先どるコミュニティを、どこよりも早く、どこよりも高い技術で。

独自ドメイン+オリジナルデザインDAO

希望される独自のドメインによるオリジナルのコミュニティプロトコルを提供。・インターフェースの独自カスタマイズにより、ブランドイメージに準拠した企業向けDAOの構築も可能。

ワンストップソリューション

FTやNFTを始め、企業様の独自の担保発行から、財務管理、コミュニティ管理、Web3.0ソーシャルネットワーキング、その他のモジュールまで、ワンストップで開発・支援が可能。



カスタマイズ性

インフィニット・DAOの採用するモジュラーDAOプロトコルを組み合わせて使用することで、希望のDAOにカスタマイズが可能。Web3.0の世界でのコミュニティ拡大を加速させる。

Web2.0との連携

現在の主流であるWeb2.0からWeb3.0への 連携を容易にするワームホール技術を搭 載。Twitterを始め、既存のWeb2.0を利用し ているユーザーでもシームレスにWeb3.0の コミュニティへ参加することを可能とし た。

今後注目をされるDAOの構築を、高い技術レベルで実現。

DAOによるコミュニティ運営のソリューション

既存の会社や組織、コミュニティの形に変革をもたらす革命的技術

Web3.0時代=分散型の時代では、非中央集権がキーワードとなるサービスが多業種において広がりを見せます。 それらサービスのユーザー・読者・ファンクラブ・会員など、さまざまなコミュニティの運営を、企業が主導して管理する ことは現実的ではありません。

Web3.0時代の分散型コミュニティ=DAOは、現在のWeb2.0時代のコミュニティ運営において企業が抱える問題点を解決するエコシステムとなるのです。

web2.0のコミュニティ運営の問題点

- ・管理者がいることで情報がレイヤー化されるため、 コミュニティ内の広告・広報リーチが不平等・非効率。
- ・コミュニティ運営と継続は難易度が高く、そのために人件費を含めコストがかかる。



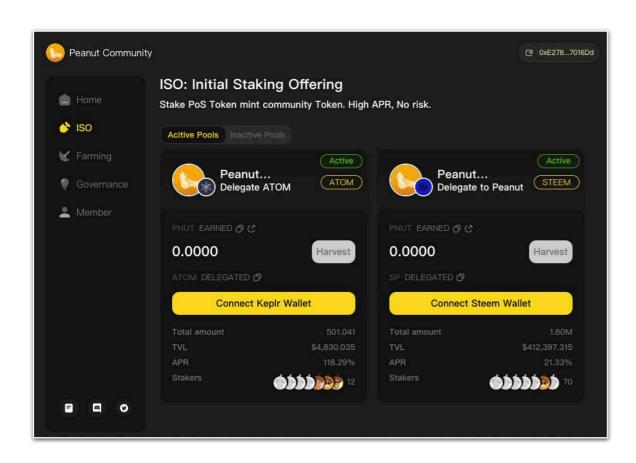
web3.0のコミュニティ運営

- ・全てのコミュニティメンバーに正確にリーチし、 ブランド価値を共有する。
- ・NFTプロジェクトがDAOの構築を推進した後は 参加ユーザー自身がコミュニティを管理運営する。
- ワンストップソリューション、マルチチャンネルコミュニティユーザーの集約

大規模企業~スモールビジネスまで コミュニティ運営のハードルを大きく下げる。

応用事例1:担保DAO

先進的なコミュニティ・組織が活用を開始、試験的な段階ながら大きな実績を生み出しつつある



プロジェクト: Peanut

スタート: 2020年

運営:2名

コミュニティ人数:1,000名

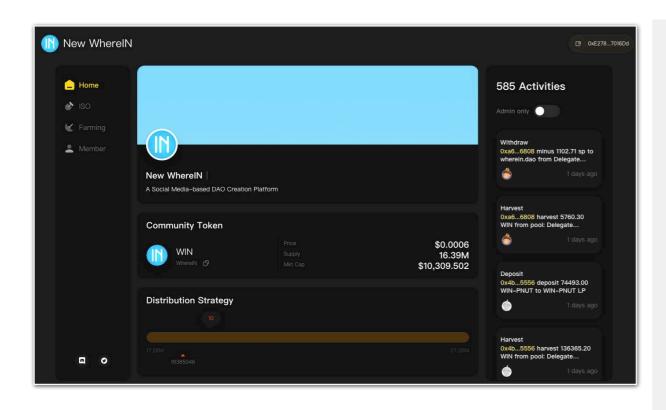
最高TVL:700万USD

Peanutは、DAOのモジュラープロトコルとフロント エンドを使用して作成された、トークンを担保に預 けることで参加できるコミュニティです。

現在Steemブロックチェーンで2番目に大きい担保 プラットフォームです。

一応用事例2:ライフスタイル共有コミュニティー

先進的なコミュニティ・組織が活用を開始、試験的な段階ながら大きな実績を生み出しつつある



プロジェクト: WhereIN

スタート: 2019年

運営:2名

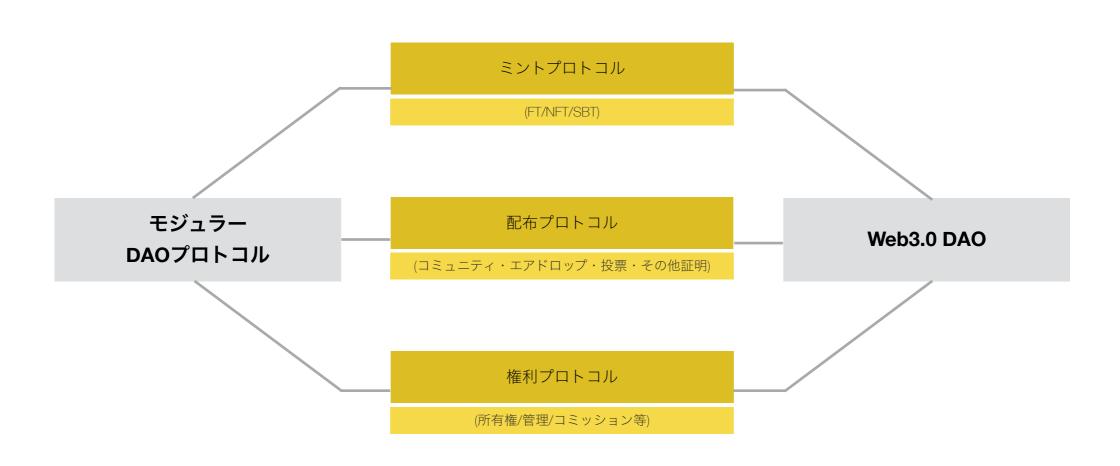
アクティブ数:300投稿/日

総利益:100万USD~

WhereINは、DAOモジュールを利用して作成された ライフスタイルを共有するコミュニティであり、 SteemブロックチェーンベースのDApp(分散型アプリ)です。

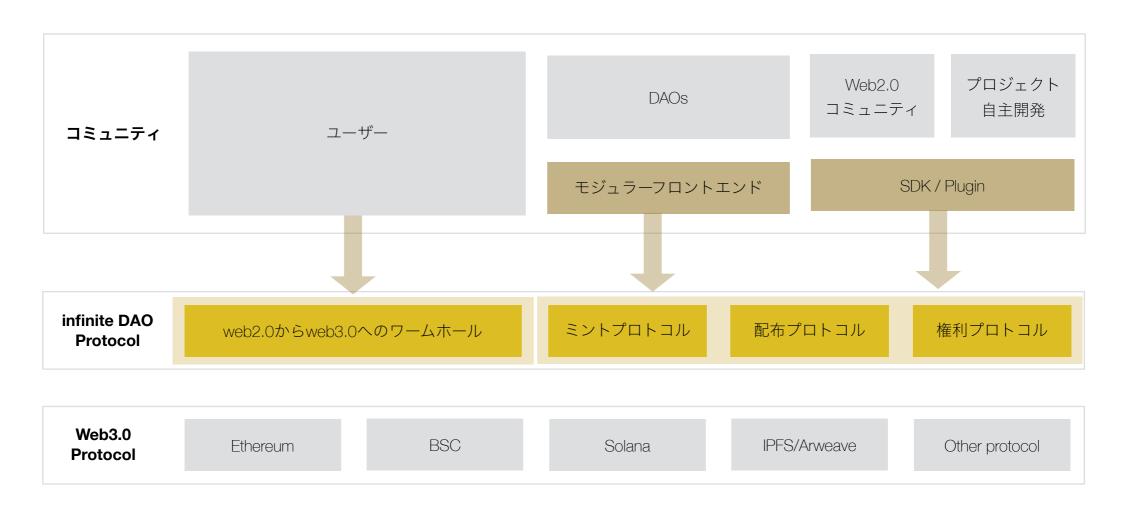
インフィニット・DAOの技術概要

収益性の高いweb3プロジェクトをコミュニティやユーザーへ繋ぐエコシステム・ストラクチャー



インフィニット・DAOの技術概要

収益性の高いweb3プロジェクトをコミュニティやユーザーへ繋ぐエコシステム・ストラクチャー



- ※ ご提案内容の納品スケジュールに関してはお見積もりと併せてご連絡させて頂きます。
- ※ ご提案内容に追加や修正などのご希望があれば、随時ご相談ください。
- ※ ご発注後の大きな変更・追加・修正等のご要望には追加の費用等が発生する可能性がございますので予めご了承下さい。
- ※ お客様の社内決議等の事情には出来る限り柔軟に対応いたしますので、ご要望があればお気軽にご相談ください。

A project to change the world from Japan.

IPFS infinite JAPAN株式会社

お問い合わせ先: info@ipfsinfinite.jp

